

第3学年 Eタイム (外国語活動) 学習指導案

指導者 HRT 片山 裕子
ALT ヨニ オーウェンス

- 1 単元名 「絵本を楽しもう」
教材名 『Let's Try! 1』 Unit 9 「Who are you?」 絵本 『In the Autumn Forest』

2 単元目標

○絵本の読み聞かせを聞いて繰り返し表現のリズムの心地よさに気付く。	【言語や文化に関する気づき】
○絵本の読み聞かせを聞いておおよその内容を理解するために、内容に係るやり取りをしながら、色、形、動物、身体等の表現に慣れ親しむ。	【外国語への慣れ親しみ】
○絵本の読み聞かせを反応しながら聞いたり、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

3 言語材料

- 表現 Are you (a dog)? Yes, I am. / No, I'm not. I see something red. Are you a?
○語彙 動物 (cow, dragon, snake, tiger, sheep, chicken, wild boar)
状態・気持ち (long, shiny, scary, round, furry), 色, 形, 身体の部分 等

4 単元計画と評価計画 (全5時間)

単元計画		評価	
単元ゴール「感謝の気持ちを読み聞かせで伝えよう」		気	コ
第1時	「絵本『In the Autumn Forest』の読み聞かせを聞こう」 主眼：絵本『In the Autumn Forest』について、ページの絵を手がかりにALTとやり取りをしながら読み聞かせを聞き、おおよその内容を理解しようとする。	○	
第2時	「絵本『In the Autumn Forest』の読み聞かせを楽しもう」 主眼：絵本『In the Autumn Forest』について、形や色等を表す既習表現を手がかりに読み聞かせを聞いたり、繰り返しの台詞をまねしたりすることを通して、繰り返しの台詞のリズムの心地よさに気付く、それらの表現に慣れ親しむ。	○	○
第3時 (本時)	「絵本『In the Autumn Forest』にプラス1の台詞を考え工夫して読み聞かせしよう」 主眼：絵本『In the Autumn Forest』の楽しさを相手に伝えるために、絵本の台詞を何度も言ったり聞いたり、既習の語彙や表現を用いてプラス1の台詞を考えたりすることを通して、工夫して読み聞かせしようとする。		○
第4時	「オリジナル絵本『Welcome to KKS43』の台詞を考え工夫して読み聞かせしよう」 主眼：自分たちが通学路のトンネルに描いたKKS43 (かがやけ カラフル 水族館 43人)を紹介するために、オリジナル絵本『Welcome to KKS43』の台詞を『In the Autumn Forest』を元に考え、工夫して読み聞かせしようとする。		○
第5時	「感謝の気持ちを読み聞かせで伝えよう」～リハーサル～ 主眼：工夫した台詞を加えた絵本『In the Autumn Forest』の読み聞かせや、台詞から考えたオリジナル絵本『Welcome to KKS43』の読み聞かせを通して、読み聞かせボランティアの方々に、感謝の気持ちを伝えようとしたり、自分たちの成長した姿を見せようとして進んで表現したりしようとする。		○
つながる活動	(総合)「通学路にある「通称：おばけトンネル」を明るく楽しいトンネルに変えよう」 トンネルの壁に描いた水族館の絵をもとに絵本『Welcome to KKS43』を作る。 (毎週木曜日朝の読書活動)読み聞かせボランティアへの感謝の会を開こう ・読み聞かせボランティアの方々に感謝の気持ちを伝える会を開く。～本番～		

- 5 言語活動の視点「第3時：絵本にプラス1の台詞を考え工夫して読み聞かせ（話す「やり取り）」
「第4時：自分で描いた生き物の1ページ作り（話す「やり取り）」
「第5時：絵本の読み聞かせ練習（話す「発表）」

1	必然性	入学時から3年間、毎週絵本を読み聞かせてくれたボランティアの方に感謝の会を開く。その際に、英語の絵本「In the Autumn Forest」を学年全員で読み聞かせをし、いつも絵本の楽しさを伝えてくれたボランティアの方に、今度は自分たちが絵本の楽しさを伝え、感謝の気持ちを表す。また、総合的な学習の時間に描いたトンネルの水族館壁画を紹介したオリジナル絵本「Welcome to KKS43」も同様に英語の台詞で読み聞かせ、自分たちの成長を示すとともにトンネルの壁画のことも知ってもらう。
2	ほんもの	自分たちで考えた犬と動物のやり取りの台詞や、総合的な学習の時間に考えた水族館の絵を使ったオリジナルの絵本の台詞を使って、次週に開く読み聞かせボランティアへの感謝の会で、学年全員による読み聞かせを披露する。
3	相手意識	聞き手である読み聞かせボランティアに絵本の楽しさが伝わるように台詞を言ったり、オリジナルのやり取りを加えたりすることによって、聞き手が楽しめるような読み聞かせを工夫する。
4	コミュニケーションの意義や楽しさ	絵本の読み聞かせを読み手とやり取りしながら聞くことで、台詞を真似したり、ALTの質問に答えたりしながら絵本を楽しむ。また、自分たちが考えた台詞でオリジナルの絵本を読み聞かせることによって、聞き手にトンネル水族館を紹介した絵本の楽しさを伝え、お世話になったボランティアとの交流を楽しむことができる。

6 各時間の主な活動

	Warm up (7~12 分間)	Activity (20~25 分間)
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk「絵本」(5分) ・ALTとHRTの好きな絵本について話を、やり取りしながら聞き、英語の絵本に興味を持つ。 ○単元のゴールを知る(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせを聞く。(1回目) ・既習の色や形の言い方を思い出しながら読み聞かせを聞く。 ・隠れている動物を推測しながら、絵本を楽しむ。 ・繰り返しの表現に慣れ親しみながら、絵本を楽しむ。 ・ALTから出題される絵本に関するクイズに答える。 ○歌「Head, Shoulders, Knees and Toes」で身体を表す表現を知る。
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○歌「Head, Shoulders, Knees and Toes」(4分) ○Pointingゲーム(4分) ・ALTが発話した動物や動物の身体部分を、教科書の挿絵から見つけ指さす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせを聞く。(2回目) ・繰り返しの台詞を真似て言い、表現に慣れ親しみながら絵本を楽しむ。 ・ALTから出題される絵本に関するクイズに答える。 ○絵本「In the Autumn Forest」をALTと一緒にやり取りしながら読む。 ・ALTと一緒に繰り返しの台詞を言いながら、全体を読む。 ・犬と動物のやり取りの後に、ALTが加えるプラス1の台詞をALTとやり取りしながら、絵本を十分に楽しむ。 ○ALTのように楽しいプラス1の台詞を加えて、読み聞かせボランティアに読み聞かせをしようとなげかけ、担当するページを班で選び次時の学習に備える。
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○歌「Head, Shoulders, Knees and Toes」(4分) ○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせ ・ALTとHRTがいくつかのページを、プラス1の台詞を加えて読み聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に班で決めたページの台詞を練習をする。 ・犬と動物の台詞を、班で役割を決めさせ練習をする。 ・犬と動物の台詞の後、どんなプラス1の台詞(やり取り)を入れたらよいか考え、練習をする。 ・他の班の友だちと発表を見合い、よいところを自分たちの台詞に取り込みながら再度自分たちのプラス1の台詞(やり取り)について考えさせる。
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせ ・班で考えたプラス1の台詞も使って学年全体に読み聞かせを披露する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オリジナル絵本「Welcome to KKS43」の読み聞かせページを学年全員で分担し、前時と同様に台詞を考え、楽しい読み聞かせの練習をする。 ・学年全員で班を作り分担する。絵本「In the Autumn Forest」の犬と動物とのやり取りの台詞を生かし、更にプラス1のやり取りの台詞を付け加えさせる。 ・他の班の友だちと発表を見合い、よいところを自分たちの台詞に取り込みながら

		ら再度自分たちのプラス1の台詞（やり取り）について考えさせる。
第5時	<p>○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせ</p> <p>○オリジナル絵本「Welcome to KKS43」の読み聞かせ</p> <p>・班で考えたプラス1の台詞も使って班ごとに練習をする。（20分）</p>	<p>○読み聞かせボランティアへの感謝の会に向けて</p> <p>・絵本「In the Autumn Forest」とオリジナル絵本「Welcome to KKS43」を学年児童全員で読み聞かせを練習する。</p> <p>・2冊の絵本の楽しさが伝わるように、自分たちで考えた台詞も加え、工夫して練習する。</p> <p>・次週に開く読み聞かせボランティアへの感謝の会で、自分たちの学びをふり返り単元のまとめとする。</p>

7 本時案 (3/5)

(1) 主眼：絵本『In the Autumn Forest』の楽しさを相手に伝えるために、絵本の台詞を何度も言ったり聞いたり、既習の語彙や表現を用いてプラス1の台詞を考えたりすることを通して、工夫して読み聞かせしようとする。

(2) 展開

		時 (分)	児童の活動及び指導者の活動	◎評価
1	Greeting	2	○あいさつ	
2	Warm up	17	<p>○歌「Head, Shoulders, Knees and Toes」</p> <p>・動作を加えながら、楽しく歌い、身体の言い方を言ったり聞いたりさせる。</p> <p>○本時のめあての確認</p> <p>・単元ゴールを確認し、本時のめあてと学習の流れを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">単元のゴール：感謝の気持ちを読み聞かせで伝えよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">めあて：絵本『In the Autumn Forest』のプラス1の台詞を考えて工夫して読み聞かせしよう</div> <p>○絵本「In the Autumn Forest」の読み聞かせ</p> <p>・ALT と HRT が2つの動物についてのページを、担任（犬）とALT（動物）で役割を決め、読み聞かせをする。</p> <p>・それぞれの動物との絵本の台詞のやり取りが終わった後に、プラス1の台詞を付け加える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>I see something white. Are you a? Oh, my ears. Yes, I am. I'm a rabbit. <プラス1の例①></p> <p>Hello, nice to meet you. Nice to meet you, too. <プラス1の例②></p> <p>Do you like carrots? Yes, I do.</p> </div> <p>・担任の質問に対してALT（動物）が答え、やり取りでのプラス1を加えて読み聞かせる。慣れてきたら、子どももプラス1のやり取りの台詞に加わせる。</p>	◎絵本の読み聞かせを反応しながら聞こうとする。 《コ》（行動観察・振り返りカード記述点検）
3	Activity	25	<p>○プラス1のやり取りの台詞</p> <p>・前時に班で決めたページの台詞について、犬と動物の台詞について、班で役割を決め練習をする。</p> <p>・犬と動物の台詞の後、どんなプラス1の台詞（やり取り）を入れたらよいか、Warm up や前時までのALTの読み聞かせの際に、ALTとやり取りしたり一緒に言ったりして楽しんだ表現から選び、考える。</p> <p>・4人の班でプラス1の台詞を出し合い、話し合っ一つ一つの台詞に絞る。</p> <p>・プラス1の台詞は、次の視点を元に考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 知っている英語を使った台詞（練習したらみんなが言える）</p> <p>2 絵本の楽しさが伝わる台詞（自分たちも楽しく言える）</p> </div> <p>・決めた台詞を班で練習する。</p> <p>○全体で交流</p>	◎絵本の台詞をまねて言おうとする。 《コ》（行動観察・振り返りカード記述点検） △他の班のプラス1の台詞を聞いて

